

◎第一回勉強会（2020）◎

9月5日（土）、2020年度第一回の勉強会が開催されました。

今回は、コロナ禍ということもあり、感染防止の観点から、初めてのZoomによる開催となりました。UD沖縄初の試みに事務局一同、多少緊張気味ではありましたが、勉強会では忌憚なき意見が飛び交い、学びの多き場となりました。ご参加いただいた先生方、有難うございました。



○小島 哲夫先生○

「授業UDの説明」

どの子にとっても楽しく学び合い『わかる・できる』を目指す授業デザインについて話をしていました。日本授業UD学会（沖縄支部も同様）の提唱する授業UDの条件、そしてそれを具現化する手段の一つとして、「しかけ」についても紹介していました。

○大城 幹也先生○

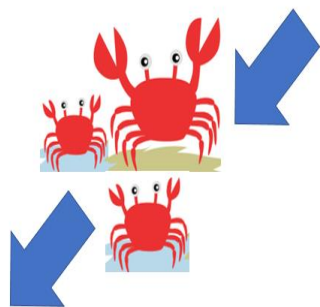
授業プレゼンテーション①

説明文「世界にほこる和紙」（光村図書4年）

『具体例の役割』とその効果を、子どもたちに理解してもらうために、「加える」「選ぶ」「隠す」「仮定する」という「しかけ」を用いた授業案を提案しました。提案後の検討会では、センテンスカードや挿絵の扱い方、授業の山場における展開について、話し合いが盛り上がりしました。



主題
作者が伝えたいこと
「人間世界の本质」



やまなし
【作品】



宮沢賢治
【作者】

○屋嘉比 理先生○

授業プレゼンテーション②

文学『やまなし』（光村図書6年）

教材「やまなし」を通して主題クジを用いた主題の捉え方の授業提案や、様々な対象から主題を考えさせる授業提案など、2つの授業パターンを提案しました。授業後の検討会では、どちらの授業が効果的だったかにを話し合うとともに、主題の扱い方について学びを深めました。

読者